

泌尿器科医師のご紹介

2020年7月から毎金曜日午前中、泌尿器科診療を担当している三馬省二(さんま・しょうじ)です。生まれは広島県福山市で、瀬戸内海の温暖な気候で高校卒業まで過ごしました。趣味は音楽で、私自身サックスとギター奏者で、退職後はプロを目指しています。近い内に南和病院でもコンサートをしたいと思っています。

医師としての経歴は、1978年に奈良県立医科大学を卒業後、泌尿器科に入局。1985年から3年間、米国シカゴにあるノースウエスタン大学医学部で病理学を学び帰国。医大を経て、1996年7月に県立奈良病院(現・奈良県総合医療センター)に泌尿器科部長、兼透析室室長として赴任、その後、腎尿路疾患センター長を拝命し、定年退職後も機構認定有期職員として25年間継続勤務しています。主に、泌尿器科、血液浄化治療領域を担当してきましたが、特に腹腔鏡手術、ロボット(ダ・ヴィンチ)手術に力を注いできました。2013年3月に奈良県下第1号のロボット下前立腺摘除術の術者を担当したのが大きな思い出ですが、今や腹腔鏡手術もロボット手術も「普通の手術」になっています。



このように、急性期病院での勤務経験しかなく、正直、当初は南和病院での診療にかなり戸惑いました。しかし、南和病院が社会の中でとても重要な役割を担っていることは間違いなく、職員の皆さんの笑顔で勤務する姿を拝見しながら、新しい勉強と思って勤務しています。

今後も自分自身が成長できるように精進するとともに、慢性期医療にとっても重要と考えられる泌尿器科領域の知識を皆さんと共有できるよう努力する所存ですのでよろしくお願い致します。

デイサービスセンター敬老会開催



9月21、22日に、南和病院デイサービスセンターにて敬老会を開催しました。

昨年利用者様に作成していただいたワニワニパニックが非常に好評でした。日頃のうっぷんを晴らすかのように、パシパシとたたかれる音が室内に響き渡り、皆さん楽しんでいただけたかと思います。

また、手作りの紙芝居では、題目は「ならなしとり」、大淀町ゆかりの梨のお話でした。スタッフが話すリアルな世界観に、皆食い入るように聞き入っていました。

今年も、スタッフ一同が「高原列車」をアレンジして躍らせていただきました。時折のミスはご愛敬で笑いが起き、みなさまとのあたたかい雰囲気の中、無事拍手で締めることができました。最後に、ビンゴで和気あいあいと会を終えることができました。

南和病院デイサービスでは、初めて100歳を迎える利用者様がいらっしゃいます。いつも笑顔で、スタッフも元気を頂いております。

これからも、皆様の健康の一助になれるよう、楽しい時間を過ごしていただけるよう、沢山の催しを企画しますので、宜しくお願い致します。



『職場紹介』～栄養科のご紹介～



栄養科では、栄養管理、栄養指導、そして食事提供の3つを主な業務として行っています。

栄養管理は、主にNST活動として栄養管理計画書に基づき、患者様の栄養状態・摂取機能及び食事形態を把握し、患者様がより良い栄養状態を保ち、病状が回復するよう栄養サポートしています。

食事提供では、栄養士が医師や看護師、またリハビリスタッフなどと連携を取りながら身体状況や検査結果、嚥下状態を観察し、嗜好調査を行い、栄養士が患者様にあった献立を作成し、調理師が心をこめて調理し、食事を提供しています。

また、当院では患者食だけではなく、デイサービスの方への食事も提供しています。長期療養の患者様や利用者の方にもずっと食事を楽しんでいただけるように、行事食や郷土料理、誕生日に和菓子などを提供しています。

管理栄養士、栄養士、調理師、調理員が一丸となって、一人でも多くの患者様に喜んでいただけるよう、日々努力しています。



ウイルスに負けない体を作ろう！ 納豆キムチーズ春巻き

難易度 ★☆☆

これからの季節心配なのが、インフルエンザやノロウイルスといった感染症です。そんな時期に積極的に取り入れたい、体の免疫力をアップさせる食材といえば納豆です。そんな納豆レシピを紹介します。免疫力を高め、自分の健康・家族の健康を守りましょう。

◎納豆の健康効果◎

納豆だけが持つ「納豆菌」がインフルエンザウイルスの増殖を抑える効果や、腸内環境を整える効果があります。腸は、体の免疫細胞の7割が集まっているといわれるほどの免疫器官であるので、腸を整えることが免疫力のアップに繋がります。

他にも、納豆に含まれる「ナットウキナーゼ」という酵素は、血栓を溶かす効果があり、心筋梗塞や脳梗塞等の血栓症の予防になります。骨粗鬆症予防、花粉症などのアレルギー抑制作用、美容への効果、血糖値の上昇を抑える効果など様々な効果もあります。

【材料 6本分】

- ・春巻きの皮 6枚
- ・納豆 2パック
- ・キムチ お好みで
- ・とろけるチーズ お好みで
- ・ネギ お好みで
- ・小麦粉 小さじ1
- ・水 小さじ1

《作り方》

- ① ボールに納豆、キムチ、チーズ、ネギを入れて混ぜ合わせる。
- ② 春巻きの皮に①の具材をのせて巻いていく。巻き終わりに、水溶き小麦粉を塗って閉じる。
- ③ 170度で熱した油できつね色に揚げて、出来上がり。



※豆が嫌いな私も美味しく食べることができたので、苦手な方もぜひ作ってみてください♪



『看護部だより』 看護部教育委員会研修会～褥瘡ゼロへの対策～



10月21日、南奈良総合医療センターより、皮膚・排泄ケア認定看護師の馬場精江(ばばきよえ)様を講師にお招きし、「褥瘡ゼロへの対策」というテーマで講義・演習をしていただきました。

高齢者の皮膚の特徴や、褥瘡予防と管理など、さまざまな内容を組み込んで講義をしていただきました。講義に参加したスタッフからは、予防方法や管理について詳しく学ぶことができたという声がたくさん上がっていました。



演習では、実際に「患者体験」をすることにより、どこに圧力が掛っているのか、どうすれば楽な体位をとれるのかがよく分かりました。

参加者から積極的に講師へ質問する姿も見受けられ、大変有意義な研修会となりました。



◇ 院内勉強会 ◇



南和病院では、職員全体の知識と技能の向上を目的に、次のテーマについて勉強会を実施しました。

【開催日】 令和2年8月28日、9月3日

【テーマ】 「手指衛生のタイミングについて～新型コロナウイルスも含めて～」

【講師】 テルモ株式会社



医療安全対策委員会の取り組みについて

医療安全対策委員会では、医療にかかわる現場で発生する、患者様や病院関係職員の人身事故(医療事故)の防止を基本方針として取り組んでいます。委員会ではこの活動を通じ、患者様が安心して治療に専念していただける「医療の安全の確保」に取り組んでいます。

1. 委員会では医療事故防止対策を進めるため、問題点の報告と防止対策について各所属職員への周知徹底を行う。
2. 報告書を用いて、広く、具体的な情報を収集し、その内容の分析や対策を検討。院内のみならず、他の医療機関で起きた情報についても収集する。
3. 所属部署における医療事故防止の原因及び防止方法並びに医療体制の改善方法の検討と提言。
4. 各医療現場の立場で、医療事故防止対策マニュアルの見直しや現場での定期的チェック、委員会への具申などの活動を行う。
5. 医療安全に関する職員研修・訓練の立案と実施。



秋の消防訓練実施

10月22日、2階病棟深夜出火を想定し消防訓練を行いました。消防訓練は、人命保護と災害の拡大防止措置を取ることを目的としています。火災という異常事態の中で、迅速に的確な行動をとることができるように、基本的な消防活動を身体に覚えさせておくことが大切



日本骨粗鬆症学会発表

当院の吉川放射線技師が、第22回日本骨粗鬆症学会で口述発表を行いました。今年度は新型コロナウイルスの影響で会場開催ではなくWeb開催となり、発表内容はプレゼンテーション動画が配信されました。

骨粗鬆症マネージャーとして、当院の骨粗鬆症骨折リスクの啓発内容を他施設の方々に知っていただけたかと思います。



ホスピタル川柳



日頃病院等の何気ない出来事を、ユーモアと風刺のセンスで表現した作品を募集しています。ご応募頂いた作品は、委員会にて選定を行い、なんわ通信に掲載させていただきます。

- ・患者より 振り回されてる 電カルに 蛙くん
- ・コロナ禍で 周りはみんな マスク美人 ハテ
- ・リハビリは 毎日あるのに 初対面 ひでこ

- ・画面越し 家族喜び 動画撮る 蛙くん
- ・Web面会 寡黙な人も しゃべりだす ハテ



◆ グループリハ 写真館 ◆



KOUJIN
医療法人 弘仁会

南和病院

住所 〒638-0833 奈良県吉野郡大淀町大字福神1-181
電話番号 0747-54-5800 FAX番号 0747-54-5700
ホームページアドレス <http://www.koujin.jp/>

施設概要

- ・長期療養病床:96床
- ・急性期一般病床:42床
- ・院内デイサービスセンター
- ・介護支援センター相談サポート

診療科目

内科・外科・整形外科・肛門外科・脳神経外科・人工透析内科
泌尿器科・リハビリテーション科(理学療法・言語聴覚療法)

診療時間

午前9:00～午前11:30 休診日:土曜日・日曜日・祝日・年末年始



*近鉄吉野線 福神駅より徒歩約5分、医療センター斜め向かい

南和病院 基本理念

- ・患者様の人格を尊重し、心の通うぬくもりのある医療を目指します。
- ・医療人として、常に良質の医療を提供できるよう自己研鑽に努めます。
- ・患者様が安心して治療に専念できる医療環境を提供します。

編集者:なんわ通信・HP編集委員会